

映像	内容
タイトル VTR	オープニングタイトル
スタジオ	<p>田村： お元気ですか！市民のみなさん。麒麟の田村裕です。</p> <p>廣川： 廣川陽子です。 いやー、田村さん。毎日暑いですよ～。</p> <p>田村： ねえ～。</p> <p>廣川 そんな暑さを吹き飛ばす 吹田の夏の風物詩が今年もやってきますね！ 吹田まつりでございます。 今年は8月3日（土）と4日（日）ということなんですが、 会場が、3日は江坂会場と千里南会場。 4日が JR 吹田駅周辺会場という事になってますね。</p> <p>田村 めっちゃでかい祭りですよ～。 僕、山田（出身）なんで、吹田にそんなに行ってなかったんで、 これ（千里南会場）だけ行ったことあるんですよ。一回だけ。 でもね、小学五年生ぐらいですごく薄い記憶です。</p> <p>廣川 でも実は第50回なんです。</p> <p>田村 すごいよね。50回ですよ。 何でも50回やるって大変ですよ。</p> <p>廣川 こんなパンフレットもございまして、 50回を記念した特別企画もありまして、 例えば JR 吹田駅周辺会場では、「すいたO×チャレンジ」があったり、 千里南会場では「千里スカイランタンナイト」。</p>

田村

これすごいやん！

廣川

ロマンチックですよ。

田村

これ楽しそう！

廣川

もうチケットが売り切れになってるみたいなんですよ。

田村

は～、そうですか。

廣川

このパンフレットには会場の地図だったりとか、プログラムなんかも細かく書いていますので。

田村

あ、ほんまや。 江坂会場のとか。
スケジュールも細かい。 いろんな事やってますね。
いいな～、マジで行きたいわ。

廣川

楽しそうですよね～。
こちらのパンフレットですけども、
市役所や各駅などで配布中ですのでご活用ください。

田村

わかりました～。

廣川

では、特集に参りたいと思います。
突然ですが田村さん、例えば周りの人が認知症になってしまった時って…

田村

急にめちゃくちゃ重い話してるで。
今まで祭りの楽しい話してたのに。

	<p>廣川 ない話ではないですよ。</p> <p>田村 もちろん、そりゃそうですよ。 ましてや高齢化社会ですから。</p> <p>廣川 そういった困ったなって時、どこに相談したらいいかわかりますか？</p> <p>田村 え？病院？ 病院しか思いつかへんわ。</p> <p>廣川 そうですよね。そういった身近な問題ですけど、 どうしたらいいかわからないという場合にはですね、 今回特集で組んでいますので見ていただきたいと思います。 今回はもしもの吹田と題しまして、生活の中で遭遇するかもしれない 様々なトラブルに対する市内の相談窓口を紹介しております。</p>
<p>VTR</p>	<p>りぴーと（以下りぴ）： どうも！芸歴1年目「ときヲ」と「りぴーと」で「ときヲとりぴーと」です。</p> <p>ときヲ： 行こか～。</p> <p>2人： お願いします～。</p> <p>りぴ： 田村さん、廣川さん、そして吹田市民の皆さま、僕「りぴーと」の方は、 吹田出身で今も吹田に住んでいるので、吹田愛は誰にも負けないです！</p> <p>ときヲ： 僕「ときヲ」は兵庫県の三木市出身です。</p> <p>りぴ： 全然関係ないとかやん、むしろ。</p> <p>ときヲ： 兵庫県の三木市っていうのも、またの名を兵庫県の吹田市。</p>

りび：

誰が呼んでんの？そうって。お前だけやぞ、それ言ってるの。

ときヲ：

なんで、僕もどんどんPRしていきますよ～。

りび：

お願いしまーす。

りび：

ところでさ、前々から聞きたい話があって。

ときヲ：

聞きたい話？田村さんのハマり方とか？

りび：

ハマり方、めっちゃめっちゃ気になります。お願いします！ハマってください！
僕らに！…いやそんなんちゃうねん。もっと聞きたいことあんの。
これこれ！この簡易裁判所って一体何なんて話をしてんのよ。

ときヲ：

いや、内容はわからんねん。

りび：

やと思ったわ。

ナレーション

もし何かがおきたらお世話になるんじゃないかと思いつつも、
未だよくわからないもの。
「もしも、こんなトラブルに見舞われたらどうしたらいいんだろう？」
そんな「もしも」にお答えする「もしもの吹田」。
まずは、もしかしてお世話になるかもしれないけどよくわからない
吹田簡易裁判所って何？

りび：

簡易裁判所って、ズバリどういうところなんですか？

山本さん：

簡易裁判所は、日常生活で起こる様々な揉め事を取り扱っている
身近な裁判所となっております。

りび：

揉め事といってもいろいろあると思うんですけど、
例えばどういう揉め事があるんですか？

山本さん：

例えば、金の貸し借りでのトラブルだったりとか、
家賃を支払ってくれない、自転車同士がぶつかったなどの生活に密着した
トラブルが多いですね。

ときヲ：

僕も今ルームシェアしているんですけど、同期と。
同期に家賃を払ってもらえない時は…。

りび：

その場合は、ここにこればいいんですか？

山本さん：

そうですね。

ナレーション

簡易裁判所では、ときヲ君のような法律に詳しくない人でも簡単に
手続きできるように、書き込むだけで裁判所に提出できる書式が
用意されているんですよ。

そうそう、離婚や遺産分割などの家庭でのトラブルは、家庭裁判所での
手続きになるのでお間違いなく！

山本さん：

簡易裁判所で取り扱っている手続きについては4つの手続きがございます。
まず一つ目は「民事訴訟」手続きになります。

こちらは、いわゆる裁判といわれるもので、法廷に来ていただきまして、
裁判官がそれぞれの言い分を聞いたり、証拠調べをして、最終的に
判決によって解決する手続きになります。

りび：

それこそ、ここでやるということですね。

山本さん：

そうですね、こちらの法廷の方で手続きを行っております。

りび：

これは見たことがあります。ドラマとかでも見たことある感じですね。

山本さん：

いわゆる法廷というものになります。

ナレーション

その他にも民事訴訟の中には60万円以下のお金の請求に限って、原則1回で審理を終える「少額訴訟」という手続きがあります。また簡易裁判所では、書類審査のみで行う「支払督促（とくそく）」や裁判官と調停委員が間に入って、話し合いで紛争の解決を図る「民事調停」など、トラブル解決のための様々な手続きがあるんですよ。

山本さん：

今話しているこの部屋が調停手続きで使用する調停室になります。

りび：

ここが調停室になるんですね。

では、先ほどお話しされていた金銭トラブルとかの話も、この部屋でされるということですか？

山本さん：

はい。調停手続きは非公開の手続きになっておりますので、話しにくいことも話すことができます。

裁判官と調停委員がそれぞれお話を聞きますので、法律の知識がなくてもスムーズに話を進めることができます。

りび：

むちゃむちゃ助かりますね、それやったら。

山本さん：

あと、民事訴訟に比べて費用も安く、解決までの期間も短く、さらに調停でまとまった内容というものは民事訴訟の判決と同様の効力があります。

りび：

同じになるんですね、すごいなそれ。

ときヲ：

そういえば、こないだ俺、お前にお金貸したよな？

りび：

お金？借りた覚えはないけど。

ときヲ：

山本さん、僕こいつにお金貸したんですよ。
簡易裁判所に、これお願いしてもいいんですか？

山本さん：

はい、もちろんです。

りび：

「もちろんです」じゃなくて、僕の意見も聞いてください。

りび：

ええっ！何、これ！？ ええっ！アライグマやん！
めっちゃ見てくる。うわぁ、ずっとこっち見てるやん。

アライグマ：

えい！えい！おりゃ！

りび：

しっ！しっ！ わぁ、全然どかへん。
どうしよう！ もしも、アライグマに出会ったら！

りび：

道などでアライグマに出会ってしまった時ってどうすればいいんですか？

担当課：

アライグマは本来は日本で野生で生息する動物ではないのですが、
ペットとして飼われていたものが逃げ出したり、捨てられたりしたものが
繁殖し、大阪の北部や吹田市で広く確認されています。

りび：

あ、そうなん？

アライグマ：(うんうん)

りび：

じゃあ、偶然会ったとかじゃなくて、吹田市にすごく多くアライグマが
いっぱいいるってことですよ？

担当課：

そうですね、敵対する動物がいないので生息分布が拡大していて、市内でも至る所で生息していると思われます。

りび：

では、実際にアライグマに出会ってしまった時はどうすればいいですか？

担当課：

見た目は非常に可愛いですが、気性が非常に荒くてですね、近づくと噛み付いたりすることがありますので、エサをあげるなどして近づくようなことは決してないようにしてください。

りび：

何？

アライグマ：

餌じゃない！ごはんや！！

りび：

餌じゃなくてごはん？ 言い方のこだわりはええわ！餌でええから。こだわりがすごいです。

担当課：

・・・はい。

またですね、野生の動物になりますので、狂犬病などの病原体を持っているので非常に危険ですので気をつけてください。
農作物や家屋の被害でお困りの方は、こちらの捕獲器を市のほうで貸し出していますので、市役所の地域環境課の窓口まで来ていただくようお願いします。

りび：

実際に捕まえたら、どうしたらいいんですか？

担当課：

市役所にご連絡いただきましたら、こちらの方で回収させていただきますので地域環境課までご連絡いただきますようお願いします。

りび：

わかりました！

アライグマ（ときヲ）：

アライグマは可愛いけど、見た目に騙されたらあかんで！

りぴ：

ときヲやったんや。

りぴ：

ちょっと見て！あかねちゃんの誕生日に指輪買ったんよ。

ときヲ：

そうなん？

りぴ：

めちゃくちゃ高くて、これあげたら喜んでくれるかな？

ときヲ：

そのデザインやったら絶対喜ぶって！

りぴ：

そのデザインやったら喜ぶ・・・て、なんでお前知ってんねん！

ときヲ：

この細さとこの色やったら、絶対あかねちゃん喜ぶって！

りぴ：

なんで勝手につけてんねん！返してもらっていいかな？

ときヲ：

ごめんごめん、取る取る。

りぴ：

返して、ちゃんと！

ときヲ：

返す返す。

りぴ：

お前、取れへんくなってんちゃうん？

ときヲ：

痛っ。硬っ。取れへん！

りぴ：

どうしてくれんねん！

ときヲ：

指輪取れへんかったら、どうしたらええん？

りぴ：

もし指輪が抜けなくなってしまうたら、どうしたらいいんですか？

消防署：

はい、消防署で取ることができます。

りぴ：

ホンマですか！？

消防署：

はい！指がうっ血して変色してきたら、すぐに消防署に来てください。

ときヲ：

どうやって取るんですか？

消防：

まず、ご自宅で試していただきたいのが、指と指輪の間に洗剤を流してもらって、それで滑らせて取る方法があります。

それでもダメな場合は消防署に指輪を切断する専門の器具がありますのでそれで切断します。

ときヲ：

そうなんですね。

りぴ：

ぜひお願いします。

ナレーション

抜けなくなった指輪をカットするには、指と指輪の間に器具を差し込み、ノコギリ状の歯で切断していきます。

さらに切断した切れ目から細い針金を通して両側から引っ張り、

指輪を広げて外します。

ときヲ：

取れた！

りび：

ああ、取れた…。

消防署：

消防署で指輪をカットしてしまいますと、修復できるかわからないので心配な方は宝石店などに連絡してみてください。

ときヲ：

いやあ、そんなに落ち込むなって！指輪取れてんから！

りび：

お前のせいでこうなってんねん！

りび：

あははは！面白いな、テレビって、なあ、おじいちゃん。
でも、もうそろそろ遅くなってきたから寝～や、おじいちゃん！

ときヲ：

なあ、りびーと。わし、まだ夕ご飯食べてへんぞ。

りび：

夕ご飯、さっき食べてたよ。うどん出てきて食べたやん！

ときヲ：

うどんなんて、わしゃ食べてへんわ！

りび：

食べてたって！

ときヲ：

タコとマッシュルームのアヒージョなら食べた気はする。

りび：

出るわけなくない？食卓に。
アヒージョとか出た試しないから！うどん食べてたって！

ときヲ：

いや、アヒった記憶はあるねや。

りぴ：

「アヒった」って言わんといて。

ときヲ：

いや～、あんねんけどなあ。

りぴ：

うどん食べてたから！

ときヲ：

「うどん」って、なんや？

りぴ：

うどんごと忘れてるやん！

もしも家族が認知症になったらどうしたらいいの！？

りぴ：

僕の家のおじいちゃんが認知症になってしまったみたいなんですけど、
どうすればいいですか？

担当課：

そういうお悩みなら、地域包括支援センターにおまかせください。

りぴ：

えっ！ここはそういう施設なんですか？

担当課：

そうなんです。

地域包括支援センターは高齢者の総合相談窓口で、高齢者が地域で元気に暮らしていけるようにサポートしています。

先ほどのようなお悩みにも相談に応じていますよ。

りぴ：

なるほど。認知症の相談には、どんなアドバイスがもらえるんですか？

担当課：

物忘れが気になる方は、まずはかかりつけのお医者さんに診てもらうことをお勧めしています。それでお薬を処方してもらったり、必要なら大きい病院で

検査するという流れになると思います。

りび：

なるほど、まずはかかりつけの病院でいいんやね、おじいちゃん。
それならいけそうやね！

ときヲ：

おお。

ナレーション

他にも地域包括支援センターでは、その人の状況に合わせて、
どんなサービスが受けられるかのアドバイスや、介護保険以外の高齢者の
制度の紹介もしてくれるんですよ。

もちろん手続きのお手伝いもしてくれます。

地域包括支援センターは、吹田市内に15か所設置されています。

担当課：

認知症にならないために、地域で参加できる集いの場なども
ご紹介しています。困ったことがあれば地域包括支援センターに
ご相談ください。

りび：

なるほど。

じゃあ、悩む前にまずここへきて相談するのが安心やね、おじいちゃん。

ときヲ：

高齢者のことで困った人は地域包括支援センターに行こか～！

りび：

そこだけしっかりしてんな。

田村：

なんかすみません。

ときヲ君が時々見せる「ゆりやん感」は何なんでしょうね。

若いだけあって、ボケたい欲というか、自分たちのペースでいきたい感じが良かったですね。

廣川：

これから応援していきたい二人ですね。

でも、とても分かりやすかったですね。

田村：

そうですね。

いろんなトラブルに対応できるんやなって分かりましたけど。

アライグマが…。

廣川：

出るんですね。

田村：

見たことないですね。

廣川：

触ったり、餌をやったりするのは、もちろんいけないですし。

田村：

気性荒いでもんね。怖いね。

廣川：

そういうことも知らなかったですしね。あと、指輪も。

田村：

消防署で切ってくれるんですね。すごいな。そんなんあるんや。

知恵的なことで取ってくれるんやと思ったら、

がちり「カッター」でしょ？

廣川：

「リングカッター」っていうのがありましたね。

田村：

専用の器械でね。

最終手段って感じですけど、何かあった時は行けばいいっていうのを

知ってれば安心ですからね。

廣川：

もしもの時って焦ってしまうことが多いですけど、
こういうことを予め知っておくだけで安心できますよね。

田村：

知ってるのと知らんで、全然違いますからね。

廣川：

今回、VTRで紹介した以外にも「もしも」の時って
いろいろあると思うんですが、そんなときは今年更新した
「くらしの友」にも細かく情報が載っています。

田村：

見とかなあかんね。

廣川：

こちらは市内全戸配布されていますし、市役所でも配布しています。
ご活用ください。
ホームページでも確認することができるということですので、
ぜひ見てみてください。

田村：

こういうのって目を通さへんけど、ちゃんと見とかなあかん。

廣川：

そうですね。これを機に見てください。以上、特集でした。

ワンポイント手話

田村裕のすい散歩

VTR

田村：

終わりましたね。

廣川：

私、お腹すきました。

田村：

お腹すきましたね。なんか食べて帰りましょうか。

廣川：

せっかくなんでね。いろいろありますもんね、きっとね。

田村：

エキスポシティっぽいところで食べて帰ろう。

廣川：

いいですね、何がいいかな？

田村：

何かあるのかな？聞きに行きませんか？

廣川：

いいですね～。

廣川：

よく来るんですか？エキスポシティは？

女性1：

自分は来ます。

田村：

なんでですか？

女性1：

ニフレルの年パス買いました。

田村：

へえ～！一番好きな動物は？

女性1：

今は、やっぱりカバ。

廣川：

おすすめのお店ありますか？

田村：

エキスポシティ感があるところ、なんかない？

女性1：

「万博食堂」みたいなのなかったっけ？

女性2：

あー、あった気がする！

女性1：

次、右に！

田村：

説明が雑いねんて。

女性1：

あっち行って、右！

田村：

あっち行って右？ 最初から右やってたよ？

廣川：

気になりますね。

田村：

気になるね。「万博食堂」ええやん。ありがとうございます！

廣川：

ありがとうございます！

田村：

じゃあ、熱射病？日射病？

女性1：

熱中症です。

田村：

ジェネレーションギャップや。

廣川：

ジェネレーションギャップですね。熱中症ですね。

田村：

俺らの時は熱射病って言うたんや。

廣川：

言うてましたね。

女性1：

違う、ちょっと違う。

田村：

へ～、全部うまそうやな。あ！あれやあれや！

廣川：

あ！ありました！

田村：

万博食堂。これや～！

廣川：

祝2025年。

田村：

あ、そうですね。大阪万博決まったからね。へえ、すごいすごい。
これ行ってみましょ。

おー、すげー！可愛い！なんかいろんな物飾ってますね。
初めて来たんですけど、いろんな物飾ってますけども、何ですかあれは？

店員：

1970年大阪万博の時に掲載したポスターとかグッズとかを
掲載しておりまして、懐かしさを味わっていただけるお店に
させていただいております。

廣川：

当時のもの？

店員：

そうです。すべてコレクターさんから収集させていただきまして、
すべて本物のポスターなどを置かせていただいております。

田村：

ほんまに当時のポスター。あっ！あれ、もしかして当時のパビリオンの？

店員：

そうです。

あれは本当のジオラマで当時のパピリオンの配置図になっています。

田村：

うわ～！見たい見たい！

店員：

一番上のところにあるのは、ソ連館。今はロシアなんですけども、今までの万博の時には来てなかったんですけど大阪万博で初めてソ連館というのを建てて、最長8時間待ちという形で待ってた。

ソ連館でご用意した「ボルシチ&ピロシキ」と、

当時の洋食をちょっと細かくさせていただいた

「万博プレート」というのを今から召し上がっていただきたいと思うんですけど。

廣川：

嬉しい！

店員：

よろしければご賞味くださいませ。

廣川：

はい。お願いしま～す。

店員：

おまたせいたしました。こちら万博プレートでございます。

田村：

うわ～。豪華！

店員：

一番奥の方は、ソ連館でご用意しておりました

「ボルシチ&ピロシキ」でございます。

田村：

この「万博プレート」は「太陽の塔」が付いてますけど。

店員：

そうなんです。

田村：

これは必ず付いてるんですか？

店員：

1組のお客様に対して1つは付いております。

田村：

へえ～、持って帰っていいんですか？

店員：

ちょっとそれは…。撮影用と鑑賞用という形で…。

田村：

わかりました。観賞用なんですね。

廣川：

インスタ映えしそうですね。写真の。

田村：

たしかに、ほんまやわ。これは当時出してたメニューなんですか？

店員：

そうです。こちらの「ボルシチ&ピロシキ」はその万博の時に
出してたものを再現したピロシキで、今のピロシキは中にシチューが
入っているかと思うんですけど、こちらはシチューではなくて、
その当時の中身になっておりますので召し上がっていただいて…。

田村：

いただきます。

店員：

どうぞお召し上がりくださいませ。

田村：

このハンバーガーはなんですか、これは。

店員：

こちらローストビーフをバーガーにさせていただいております、
自家製でローストビーフは作らせていただいております。

田村：

パンも焼きたてや。いただきます。

旨いわ。もうパンが旨いもん。

トマトがめっちゃフルーティでね、レタスもシャキシャキなんですけど
やっぱりローストビーフのジューシーさと柔らかさがすごいですね。

廣川：

へえ～、お肉いっぱい入ってますね。

田村：

めちゃくちゃ入ってる。これはうまいわ！抜群！

廣川：

じゃあ、私もいただいていいですか？

田村：

どうぞ。ピロシキも食べてほしい。

廣川：

いただきましょうか。

今は衣ついてますけど、よいしょ！モチモチしてる！

店員：

ひき肉と玉子、玉ねぎという形で、味が塩コショウのみ。

田村：

コショウもですよ？ コショウの香りがフワッとします。

廣川：

いただきます。

田村：

うまいやろー。

廣川：

まわりがサクツとしてるのに、やっぱりパンがモチモチです。

で、言ってたようにコショウがすごく効いていて…

いくらでも食べられますね。

田村：

子どもとこれを食うのもいいけど、おじいちゃん、おばあちゃんとかと

3世代で「懐かしいな～」とか「当時食べたかってん」とか思い出話を引き出すのにもいいよね。

廣川：

いいですね。私たちは万博を知らない世代ですけど、知ってる方と一緒に来るっていう楽しさがいいですね。

田村：

めっちゃいい。うん。

廣川：

いろんな楽しみ方ができますね。

田村：

最高ですね。

店員：

ありがとうございます。今から2025年に向けて、1970年というのにも皆さんにフィーチャーしていただいて、2025年に繋げていきたいなって、私たちはこのお料理を提供しながら感じさせていたいただきたいかなと思います。

田村：

今日はありがとうございました。

店員：

ありがとうございます。

スタジオ

田村：

続いては市内の出来事などをご紹介します「吹田のトピックス」です。

廣川：

今回も2つの話題をご紹介します。

ナレーション

6月22日と23日の2日間、内本町コミュニティセンターで「コミセンすっくまつり」が開催されました。

これは、人と人のつながりが実感できる同センターの恒例行事で、会場にはセンター主催の講座の受講者や利用団体、近隣の小学校児童の作品などが展示されていました。

2日目の23日には「こども広場」が設けられ、輪投げやスーパーボールすくいなどができる「縁日コーナー」ではたくさんの子どもたちが遊びを楽しんでいました。

また「手作りおもちゃコーナー」では、風車やストロートンボ、クラッカーなど、十数種類のおもちゃが作れるということで、子どもたちの人気を集めていました。

そして、おもちゃができあがると、子どもたちは空いたスペースで楽しそうに遊んでいました。

このほか、将棋の基礎講座や対局指導をしてもらえる「子ども将棋コーナー」、好きな絵を描いてペンダントが作れる「プラ板工作コーナー」「バルーンアートコーナー」なども設けられ、子どもたちは1日「コミセンすっくまつり」を楽しんでいました。

インタビュー

工作しました。楽しかったです。

工作で作るのが好きなので、作ることが楽しかったです。

スーパーボールすくいですぐ破れたけど、何か楽しかった。

ナレーション

6月28日、G20各国の保健大臣などが、健都を視察しました。

これは、大阪市で開催されたG20財務大臣・保健大臣合同セッションのテーマである高齢化への対応などに対し、吹田市が先進的な取り組みを行っている「健康・医療のまちづくり」を紹介するために行われたもので、13カ国からおよそ50人が参加しました。

各国の視察団に対し、後藤市長は「健康寿命延伸のため、食事、運動などをライフスタイルに組み込むことが基礎自治体の役割」とプレゼンテーションを行いました。

その後、視察団は健都レールサイド公園へ移動。
市の職員が園内にある健康遊具について、順序通りに行うことで負荷が上がっていく配置になっていることを説明。
デモンストレーションを行うと、その様子を撮影するなど、視察団は興味深そうに見つめていました。

視察を終え市長は。

インタビュー（市長）

まだまだ健都の知名度は限定的なんです。
今日G20で注目されたということを目掛かりに、
知名度が大きく上がれば嬉しいです。

廣川

すごいですね～。

田村：

ほんまにすごい！

G20で各国のトップの人以外が、こんなにいっぱい来てるのも知らなかったしその方々に見に来てもらえるものが揃ってるって事ですから、改めて健都のすごさが世界はもちろんですけど、日本にも広まるといいですよ。これだけ凄い健康施設が吹田にあるということがね。

廣川：

何か誇らしい気持ちにもなりますよね。

田村：

何かあった時も安心ですからね。

いろいろいいですよ。

廣川：

市長もおっしゃってましたけど、もっともっと皆さんに知っていただけたらいいですよ。

田村：

なんか（市長）英語喋ってましたよ。

廣川

かっこよかったですよ。

田村

（笑）絶対嘘ですけど。

廣川

そんなことはないです。
さ、エンディングでございます。

田村

エンディングでございます。

廣川

私の後ろの「すいたん」も夏休みバージョンで。

田村

今日すいたんどこかな？って探したら、めちゃくちゃつろいでた。

廣川

夏休み楽しんでるようですね。

みなさんも夏休みいかがでしょうか。

田村

ようこんなん見つけてくるな。

それではまた次回お会いしましょう。 さようなら。

廣川

さようなら。